

## Top message

ト ッ プ メ ッ セ ー ジ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第29期第2四半期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や福島原子力発電所の事故の影響を受けて急速に悪化した後に、個人消費の持ち直しや自動車関連メーカーも含めた企業活動にも回復の動きが見られました。一方で、災害復興政策の遅れによる混乱や電力不足による操業調整を余儀なくされ、さらには欧米諸国における財政不安や世界的な景気減速懸念、記録的な円高の進行と定着化など、先行きは極めて不透明な状況となっております。

カーアフターマーケットにおきましても、一部では持ち直しの動きが見られたものの前述の先行き不透明感から持続性に欠け、また新車販売台数の低迷に呼応するかのように活況感に欠ける展開となり、依然として厳しい経営環境となりました。

このような情勢のもと、当社グループではストリート向け車高調整式ショックアブソーバーの高品質ベーシックモデル「STREET BASIS DAMPER」の販売促進に引き続き傾注するとともに、客先仕様による受注などにも力を注ぎました。また、国内外における販売代理店との緊密な連携や、地域情勢等に配慮したキャンペーンなども継続しておこなってまいりました。

製品開発におきましては、平成24年の年初より販売開始を予定している新製品「STREET ADVANCE DAMPER」の開発と合わせ、機能や性能をより充実させるための構造的な研究も推進してまいりました。

また、一層の品質向上や、不測の事態に備えて継続的な事業活動を実現するための設備の導入などをおこなう一方で、生産方法の合理化や資材を中心とした原価低減活動など、固定費および変動費の一層の低減による利益体質強化への取り組みにも力を注いでまいりました。

しかしながら、国内外のカー用品需要は前述のように力強さに欠け、合わせて強い円高傾向の影響などを受けて極めて厳しい経営環境となりました。

これらの結果、不本意ながらも、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,516百万円と、前年同期と比較して若干の減収となりました。一方、利益の面においては、前期において実施した各種の固定費、経費の削減策が奏功し、経常利益51百万円、四半期純利益52百万円となりました。

株主の皆様の変わらぬご支援にあらためて感謝を申し上げるとともに、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

市 野 啓



TEINI®

For Your Driving Pleasure



テインの信頼と実績の象徴、  
「ダンパッチ」です。

株主・投資家の皆様へ

第29期

株式会社 ティン  
中間のご報告

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

JASDAQ

証券コード：7217

## ◎ 財務情報

### ■ 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	前連結会計年度末 平成23年3月31日現在	当第2四半期会計期間末 平成23年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,714	2,740
固定資産	458	441
有形固定資産	237	228
無形固定資産	29	24
投資その他の資産	191	187
<b>資産合計</b>	<b>3,173</b>	<b>3,181</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	414	386
固定負債	335	343
<b>負債合計</b>	<b>749</b>	<b>730</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	2,541	2,594
資本金	217	217
資本剰余金	215	215
利益剰余金	2,581	2,634
自己株式	△473	△473
その他の包括利益累計額	△117	△142
為替換算調整勘定	△117	△142
<b>純資産合計</b>	<b>2,423</b>	<b>2,451</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,173</b>	<b>3,181</b>

### ■ 四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	前第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>1,564</b>	<b>1,516</b>
売上原価	957	951
売上総利益	606	565
販売費及び一般管理費	558	491
<b>営業利益</b>	<b>48</b>	<b>73</b>
営業外収益	10	11
営業外費用	25	33
<b>経常利益</b>	<b>34</b>	<b>51</b>
特別利益	4	1
特別損失	2	0
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>36</b>	<b>53</b>
法人税等	4	0
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>32</b>	<b>52</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>32</b>	<b>52</b>

### ■ 売上高（第2四半期累計）（連結）

単位：百万円



### ■ 経常利益（第2四半期累計）（連結）／売上高経常利益率（第2四半期累計）（連結）

単位：百万円

単位：%



## ◎ 新製品紹介



写真はトヨタ プリウス用

### 「STREET BASIS DAMPER」

スタイリッシュ&コンフォータブルをテーマに開発。特許を取得した防錆処理を採用するなど高品質ながらも、構成部品や自社生産の強みを生かして製造工程を徹底的に見直した低価格設定。車種別専用設計でありながらも100車種以上に対応する豊富なラインナップ。さらにはストリートユースとしては初の各種保証も追加した車高調整式ショックアブソーバの高品質ベシックモデルの決定版。



写真はHONDA CR-Z用

### 「STREET ADVANCE DAMPER」

発売以来大好評を博している「STREET BASIS DAMPER」に減衰力調整機構を搭載。特に新設計の特殊形状ニードルバルブ「ADVANCE ニードル」の採用によって、減衰特性がリニアに変化することで走行ステージや乗車人数に合わせた、より最適なセッティングも可能。車種カテゴリーを選ばないストリート向け車高調整式ショックアブソーバの進化型。

## ◎ 通期の見通し

今後の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、海外では欧米諸国における金融問題に伴う景気減速感の強まりや、国内では東日本大震災や福島原子力発電所の事故に伴う電力不足の影響、さらには歴史的な円高水準の定着の影響など、総じて先行きが見通せない厳しい状況が継続するものと思われまます。

当社グループの属するカーアフターマーケットは、自動車メーカーへ納入する部品市場とは異なるため新車販売動向に左右されにくい反面、個人消費者が長引く景気低迷による雇用や所得への不安な心理状態により購入マインドを萎縮させ、特に比較的高額な商品は消費動向の影響を直接的に受けやすい側面があります。また、売上構成比の高い国内においては、若者のクルマ離れやモータースポーツの鈍化、自動車保有環境の変化など、不安定な要素が多く存在しております。

当社グループといたしましては、このような経営環境の中、平成23年1月の発売開始から好調な実績を上げている「STREET BASIS DAMPER」に加えて、平成24年1月から発売を予定している新製品「STREET ADVANCE DAMPER」の国内外での販売に注力してまいります。また、中長期的には需要拡大が見込まれる中国を始めとした世界各国の様々なユーザーニーズに対応するとともに、自動車保有環境の変化に適合した製品開発に注力して、需要喚起に向けた新たな付加価値の提案や更なる品質向上などを推し進めることで成長を目指し、収益体質の強化を図ってまいります。しかしながら、前述の経済情勢などを背景とした需要の予測が困難であり、当面は厳しい状況での展開が継続するものと思われまます。

このため、通期の連結業績予想といたしましては、11月に公表しましたとおり期初の予想を維持し、売上高2,835百万円、経常損失29百万円、当期純損失33百万円を現段階での見通しとしております。

平成23年12月

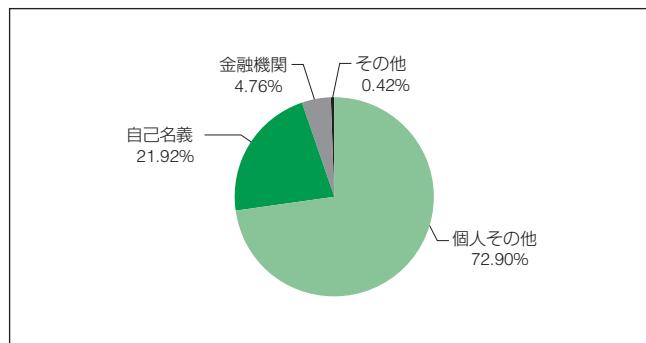
## ◎ 株式情報

### ■ 株式情報 (平成23年9月30日現在)

発行済株式の総数 6,652,250株

株主数 806名

#### 所有者別株式分布



### ■ 大株主 (上位10位) (平成23年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
市野 諒	2,932,200	56.5
藤本 吉郎	533,500	10.3
日本生命保険相互会社	195,000	3.8
市野 ルリ子	180,000	3.5
小島 宣保	129,000	2.5
市野 澄恵	121,500	2.3
株式会社西京銀行	121,100	2.3
ティン従業員持株会	76,840	1.5
大西 康弘	60,400	1.2
山田 一元	60,000	1.2

(注) 持株比率は、自己株式(1,458,450株)を控除して計算しております。

## ■ 会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号	株式会社テイン (TEIN,INC.)
設立	昭和60年2月28日
所在地	本社工場 横浜市戸塚区上矢部町995-1 TEL 045-810-5511 (代表) FAX 050-3156-3123 TEL 045-810-5501 (製品のお問合せ) IR (投資家向け広報) 担当TEL 045-810-5511 (代表)
資本金	2億1,755万円
従業員数	130名 (社外への出向者、契約社員および臨時従業員は含みます。)
事業内容	自動車用サスペンションを始めとする自動車用品の製品開発、設計製造、販売および輸入自動車用品の販売。
代表者	代表取締役社長 市野 諒
取引銀行	株式会社三井住友銀行、株式会社横浜銀行
事業所	仙台営業所 仙台市宮城野区萩野町3-13-3 横浜営業所 横浜市戸塚区上矢部町995-1 大阪営業所 大阪府箕面市西小路3丁目2-14
関連会社	TEIN U.S.A.,INC. TEIN UK LIMITED 天御香港有限公司 天御遠東国際貿易 (北京) 有限公司

## ■ 役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	市野 諒
専務取締役	藤本 吉郎
取締役	那須 賢司
取締役	武井 共夫 弁護士
常勤監査役	三宅 良明
監査役	奥川 貞夫
監査役	原 真志

- (注) 1. 取締役武井共夫氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役奥川貞夫氏及び監査役原真志氏は、社外監査役であります。

## ■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催します。
基準日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日
	(中間配当金の支払いをおこなう場合)
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
(郵便物送付先) (お問合せ先)	〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 (ご照会) ☎0120-707-843
各種手続のお申出先	未払い配当金のお支払い ・株主名簿管理人にお申出ください。 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等 ・証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。 ・証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受けいたします。  
ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>  
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

単元株式数	100株
株式取扱手数料	単元未満株式買取手数料 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額
公告の方法	電子公告 下記ホームページに掲載いたします。 <a href="http://www.tein.co.jp/ir.html">http://www.tein.co.jp/ir.html</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

メールサービスについてのご案内  
投資家の皆様の利便性向上を図るため、「情報開示サービス」をおこなっております。  
ご利用方法は、下記当社ホームページでご確認ください。  
[https://www.tein.co.jp/investors/irtekij\\_touroku.html](https://www.tein.co.jp/investors/irtekij_touroku.html)

